

2011年4月27日

### プレスリリース

本資料は4月27日にチュ  
ーリッヒで発表されたプレ  
スリリースの翻訳版です

## クレディ・スイス・グループ

### 2011年第1四半期業績を発表

税引前基礎的利益 22 億スイス・フラン (CHF) \*、基礎的純利益 16 億 CHF、基礎的株主資本利益率 18.8%

自社社債および自己勘定債務関連独立デリバティブの時価損失分 6 億 1,700 万 CHF (税引後ベース 4 億 6,700 万 CHF) を含む税引前利益 16 億 CHF、純利益 11 億 CHF、株主資本利益率 13.4%

新規純資産 191 億 CHF、Tier1 資本比率 18.2%、非常に強固な資本基盤を維持

- プライベート・バンキング部門：税引前利益 9 億 CHF、新規純資産流入 180 億 CHF
- インベストメント・バンキング部門：税引前利益 13 億 CHF、債券業務が好調な業績、株式セールス&トレーディングが堅調な業績、引受およびアドバイザリー業績も堅調、ポジティブな市場シェアの勢いが継続
- アセット・マネジメント部門：税引前利益 1 億 7,200 万 CHF、手数料収益が増加、新規純資産 45 億 CHF
- 全ての事業における顧客活動と市場シェア増の勢いが継続し、全体的に好調かつ質の高い業績
- 一層強固な資本基盤：Tier 1 資本比率 18.2%、中核的 Tier 1 資本比率 13.0%、2019 年までに施行予定のスイス国内規制および資本要件案に基づく高トリガー偶発資本 (CoCo 債) の最大 70% までの発行を可能にするための 2 つの取引を発表、繰延税金資産 8 億 CHF 減
- クレディ・スイスは 2011 年第 1 四半期も、より安定的な金融システムの構築に向けて引き続き規制当局と協力。規制動向は、当社の予想に沿った形でグローバル銀行業界にとって、より公平な場となる方向で進展を見せている

クレディ・スイス・グループは、本日、2011年第1四半期を発表しました。基礎的中核事業ベースの業績は、税引前利益 22 億 CHF、純利益 16 億 CHF、純収益 84 億 CHF、株主資本利益率 18.8%でした。これには、自社社債および自己勘定債務関連独立デリバティブの時価損失分 6 億 1,700 万 CHF（税引後ベース 4 億 6,700 万 CHF）は含まれていません。2011年第1四半期の株主帰属ベース純利益は 11 億 CHF、純収益は 82 億 CHF、株主帰属ベース資本利益率は 13.4%でした。2011年第1四半期末現在の希薄化後 1 株当たり利益は 0.90CHF、Tier 1 資本比率は 18.2%でした。米ドルおよびユーロのスイス・フランに対する平均換算レートの低下は、2011年第1四半期の業績に前年同期比でマイナスの影響をもたらしました。

最高経営責任者（CEO）のブレイディ・ドゥーガンは次のように述べています。「基礎的資本利益率 18.8%は、当社の事業モデルが安定的で質の高い利益を創出していることを一層明らかにしました。当四半期は極めて不透明な市場環境が特徴的でしたが、当社は顧客活動の勢いを維持し、市場シェアを拡大し、新規純資産 191 億 CHF を獲得しました。同時に、より堅牢な金融システムの構築のために、当社は引き続き規制当局に協力し、潜在的転換資本向け市場の創出でも先頭に立ちました。新しい規制要件にいち早く対応することによって、当社が優位なポジションを確保し、顧客や投資家に大きな価値を提供できるということについて、顧客や投資家の理解が得られるものと確信しています」。

「プライベート・バンキング部門は、顧客活動の勢いと資産流入の継続によって、好調な業績を達成しました。マルチショア事業とウェルス・マネジメント部門における包括的アドバイザリー・プロセスの構築のために払ってきた長年の努力の賜物であり、新規純資産 157 億 CHF というすばらしい業績を達成しました」。（ドゥーガン）

「インベストメント・バンキング部門は、債券業務の好調な業績、株式セールス&トレーディングの堅調な業績、引受およびアドバイザリー業務の堅調な業績によって、引き続き市場シェアを獲得しています。債券トレーディング環境が当四半期に改善しましたが、債券取引への投資が当社業績に大きなプラスの影響を示し始めたことを嬉しく思います。株式セールス&トレーディングでも強力な地位を維持しました。引受およびアドバイザリー業務も引き続き好調で、新規発行および M&A の増加を獲得することのできる地位を確保しています」。（ドゥーガン）

「アセット・マネジメント部門は、ブラジルのヘッジング・グリフォ社の取得やニューヨーク・キャピタル社の株式取得などの買収を含む事業戦略を、引き続き成功裡に実施しています。投資実績が引き続き改善し、運用手数料収入が引き続き伸びたことから、さらなる成長の可能性があると考えています。四半期毎の安定した純資産流入を嬉しく思います」。（ドゥーガン）

規制環境について次のように述べています。「金融危機に鑑み、銀行はより強力な資本体制を受け入れる必要があり、バーゼル III によって世界規模で一貫した資本の取扱いを可能にする枠組みができています。2010年にスイス専門家委員会（SEC）は、スイス大手銀行が「大きすぎて潰せない」という問題にどのように対応すべきかについて提案しています。当社は SEC の提案を支持し、バーゼル III の下で当社の競争上の地位に大きな影響をもたらすことなく、同提案を実現できると考えています。スイス国外の規制当局が提案した措置が、より公平な市場の実現に向けて進展していることに励まされます」。（ドゥーガン）

今後の業績見通しについて次のように述べています。「市場環境が引き続き建設的な状態であると予想するとともに、顧客がより高いリターンをもたらす資産や包括的アドバイザリー・サービスへの高い関心をもって引き続き活動することを予想しています。もともと、マクロ経済回復は引き続きゆるやかなペースであり、外的事象や市場の影響を受けています。しかしながら、当社はすべての顧客事業分野において強い勢いがあり、これまでと同様、改善された当社のポジションを引き続き活用する準備が十分に整っています」。(ドゥーガン)

## 決算ハイライト

単位：(他に定めがない限り)百万 CHF	2011年 第1四半期	2010年 第4四半期	2010年 第1四半期	2010年第4 四半期からの 増減率(%)	2010年第1 四半期からの 増減率(%)
当期純利益 株主帰属ベース	1,139	841	2,055	35	(45)
希薄化後1株当たり利益 (CHF)	0.90	0.59	1.63	53	(45)
株主資本利益率 株主帰属ベース (年換算)	13.4%	9.8%	22.3%	-	-
Tier 1 資本比率 (期末)	18.2%	17.2%	16.4%	-	-
継続事業からの運用資産 (年換算)	1,282.4	1,253.0	1,270.9	2.3	0.9
<b>中核事業ベース</b>					
純収益	7,813	6,960	8,961	12	(13)
貸倒引当金繰入額	(7)	(23)	(50)	(70)	(86)
営業費用合計	6,195	5,676	6,077	9	2
継続事業からの税引前利益*	1,625	1,307	2,934	24	(45)
<b>基礎的業績ベース**</b>					
純収益	8,430	7,146	8,759	18	(3.8)
税引前利益	2,242	1,493	2,732	50.2	(17.9)
純利益 株主帰属ベース	1,606	987	1,926	62.7	(16.6)
株主資本利益率 株主帰属ベース (年換算)	18.8%	11.5%	20.9%	-	-

\* 中核事業は3事業部門とコーポレート・センターを含む。ただし大きな経済的利益を有しない非支配持分に関する利益と費用を除く。  
\*\* 自社社債および自己勘定債務関連独立デリバティブの時価損失分6億1,700万CHF (税引後4億6,700万CHF)を除く。

## 部門別業績

### プライベート・バンキング部門

ウェルス・マネジメント顧客事業とスイス国内コーポレート&インスティテューショナル顧客事業からなるプライベート・バンキング部門の当四半期の税引前利益は8億5,500万CHFで、前年同期比4%減となりました。純収益は安定的に推移し28億9,600万CHFとなりました。顧客活動の増加によるトランザクション・ベース収益の13%増が、経常手数料収益の5%減と純利息収益の3%減によって相殺されました。経常手数料収益の減少は、主に投資商品運用報酬の減少によるもので、これは主に前年手数料実績の見積額の変更からのプラスの影響によるものです。営業費用合計は、主に増員による従業員報酬および手当の若干の増加により、前年同期比で増加しました。同部門の貸倒引当金繰入額は1,200万CHFという低水準で推移しました。

ウェルス・マネジメント顧客事業の当四半期の税引前利益は6億2,300万CHFで、前年同期比8%減でした。これは、純収益は前年同期比安定的に推移したものの、貸倒引当金繰入額が減少し、営業費用の若干の増加が上回ったためです。当四半期の純収益は、純利息収益の4%減と経常手数料収益の5%減を反映していますが、トランザクション・ベースの11%増

収によって相殺されました。この増収は、顧客活動の活発化による売買委託手数料と商品発行費用の増収、顧客取引からの外国為替差損の増加、包括的ソリューションからの増収によるものです。当四半期のグロス・マージンは118 ベーシス・ポイントで、前年同期比より3 ベーシス・ポイント下がりました。これは経常手数料収益と純利息収益が減少し、トランザクション・ベースの収益の増加による相殺が一部に留まったためです。

**コーポレート&インスティテューショナル顧客事業**は、引き続きスイス国内経済における主要金融サービス・プロバイダーとしての役割担い、当四半期の税引前利益は2億3,200万CHFで、前年同期を8%上回りました。当四半期の純収益が6%増加しましたが、これは営業費用が安定的に推移し、貸倒引当金繰入額がゼロとなったためです。当四半期の収益は、トランザクション・ベースの収益の強力な増収によって牽引されました。

### **インベストメント・バンキング部門**

インベストメント・バンキング部門の当四半期の税引前利益は13億4,300万CHFで、前年同期比25%減、2010年第4四半期比141%増でした。当四半期の純収益は49億2,900万CHFで、前年同期比6%減、2010年第4四半期比42%増でした。米ドル・ベースでは純収益が前年同期比8%増、2010年第4四半期比49%増、税引前利益が前年同期比15%減、2010年第4四半期比154%増でした。

当四半期の純収益には、好調な債券業務の業績および堅調な株式セールス&トレーディング業績が含まれます。これは事業基盤の拡大、市場環境の改善、顧客売買高の増加、市場シェア勢いの継続によるものです。引受およびアドバイザリー業務は堅調でしたが、季節的に好調な2010年第4四半期に比べて減少しました。当四半期の業績は、クレディ・スイスのバニラ社債および特定のストラクチャード・ノート債務に関する負債評価調整(DVA)に関する時価損失を反映しています。当四半期の従業員報酬および関連手当は24億800万CHFで、主に当四半期の株式給付報酬に関連する社会保険税額が増加したため前年同期を上回りました。当四半期の一日平均99%リスク・マネジメント・バリュエーション・アット・リスク値(VaR)は、9,300万CHF(前年同期は1億400万CHF)でした。

### **アセット・マネジメント部門**

アセット・マネジメント部門の当四半期の税引前利益は1億7,200万CHFで、前年同期比4%増、2010年第4四半期4%減となりました。当四半期の純収益は前年同期比6%減、2010年4四半期期比4%減でした。投資関連利益および当社マネー・マーケット・ファンドから取得した有価証券計上前の純収益は4億3,100万CHFで、前年同期比9%増でしたが、これは分散投資、オルタナティブ投資、伝統的投資の各業務における業績が回復したことによります。当四半期の営業費用合計は4億1,900万CHFで、前年同期を10%下回りましたが、これは従業員報酬および関連手当、一般管理費および手数料費用が減少したことによります。当四半期末の運用資産残高は4億3,600万CHFで、積極的な市場業績と新規純資産により前年同期比2%増となりました。

### **新規純資産**

プライベート・バンキング部門の当四半期の新規純資産は180億CHFでした。この内訳は、ウェルス・マネジメント顧客事業から157億CHF、スイス国内コーポレート&インスティテューショナル顧客事業から23億CHFでした。当四半期の運用資産残高は、前年同期末比1.3%増で、これは新規純資産ならびに株式および債券市場の積極的な動向が、主として当

四半期のユーロおよび米ドル安による不利な外国為替関連動向によって大部分相殺されたことによります。

アセット・マネジメント部門の当四半期の新規純資産は 45 億 CHF で、これは伝統的投資業務の正味資産流入 39 億 CHF（マルチアセット・クラス・ソリューション、株式および債券の各業務における正味資産流入が、スイス国内アドバイザー業務の資産流出分により一部相殺）およびオルタナティブ投資業務の正味資産流入分 6 億 CHF（不動産、コモディティ、ETF 各業務における正味資産流入分が、プライベート・エクイティ利益実現とヘッジファンドの資産流出分によって大部分相殺）を含みます。当四半期の運用資産残高は、前年同期比安定的に推移しました。これは新規純資産と積極的な市場業績が、不利な外国為替関連動向によって相殺されたためです。

クレディ・スイス・グループ全体の運用資産総額は当四半期末現在 1 兆 2,824 億 CHF で、前年同期末から安定的に推移し、2010 年第 4 四半期末から 290 億 CHF 増、すなわち 2.3% 増加しました。これは新規純資産と積極的な市場業績を反映しています。

## 部門別業績

単位：百万 CHF		2011 年 第 1 四半期	2010 年 第 4 四半期	2010 年 第 1 四半期	2010 年第 4 四半期からの 増減率 (%)	2010 年第 1 四半期からの 増減率 (%)
<b>プライベート・ バンキング</b>	純収益	2,896	2,914	2,900	(1)	0
	貸倒引当金繰入額	12	4	19	200	(37)
	営業費用合計	2,029	2,086	1,989	(3)	2
	税引前利益	855	824	892	4	(4)
<b>インベストメント・ バンキング</b>	純収益	4,929	3,478	5,216	42	(6)
	貸倒引当金繰入額	(19)	(27)	(69)	(30)	(72)
	営業費用合計	3,605	2,947	3,491	22	3
	税引前利益	1,343	558	1,794	141	(25)
<b>アセット・ マネジメント</b>	純収益	591	617	631	(4)	(6)
	貸倒引当金繰入額	0	0	0	-	-
	営業費用合計	419	437	465	(4)	(10)
	税引前利益	172	180	166	(4)	4

## 資本および流動性

クレディ・スイスの資本基盤は引き続き強固です。2011 年第 1 四半期末時点の Tier 1 資本比率は 18.2% でした。2010 年第 4 四半期末時点は 17.2%、2010 年第 1 四半期末時点は 16.4% でした。2011 年第 1 四半期末時点の中核的 Tier 1 資本比率は 13.0%、2010 年第 4 四半期末時点は 12.2% でした。2011 年第 1 四半期末現在の株主持分合計は、2010 年第 4 四半期末現在の 333 億 CHF を 8 億 CHF 上回る 341 億 CHF となりました。繰延税金資産純額は前年同期を 8 億 CHF 下回りました。2011 年第 1 四半期末現在のリスク加重資産は 3% 減の 2,122 億 CHF でした。

クレディ・スイス・グループは、スイス金融市場監督当局 (FINMA) およびスイス国立銀行と協力し、提案されたスイスの自己資本比率規制により、スイスの大手銀行に求められることになる要件を満たすため、2011 年 2 月に発表された 2 件の画期的なバッファ資本取引の条件に同意しました。これらの取引によって、クレディ・スイス・グループは現在スイスで提案されている規制に基づいて提言された高トリガー偶発資本の最大発行額の 70% 以上をすでに確保しています。

### コラボレーション収益

当四半期にプライベート・バンキング、インベストメント・バンキングおよびアセット・マネジメントの3事業部門のコラボレーションからもたらされた収益は11億CHFで、当四半期の純収益全体の14.1%を占めています。

\* 自社債および自己勘定債務関連独立デリバティブの時価損失分6億1,700万CHF（税引後4億6,700万CHF）を除く。

### 本件に関するお問い合わせ先

クレディ・スイス

コーポレート・コミュニケーションズ

梶野 勇

Tel : 03-4550-9893

Email : isamu.kajino@credit-suisse.com

### クレディ・スイス AG について

クレディ・スイス AG は、世界有数の金融機関として、プライベート・バンキング、インベストメント・バンキング、アセット・マネジメント事業を世界中で展開し、アドバイザー・サービス、包括的なソリューション、革新的な商品を、世界中の企業、法人顧客、富裕層個人顧客、スイス国内の一般個人顧客に提供しています。クレディ・スイス AG は、世界50ヶ国以上に拠点をもち、約50,100人の従業員を有しています。親会社クレディ・スイス・グループ AG の株式 (CSGN) はスイスで上場され、米国預託証券 (CS) としてニューヨークでも上場しています。

**Cautionary statement regarding forward-looking information and non-GAAP information**

This press release contains statements that constitute forward-looking statements within the meaning of the Private Securities Litigation Reform Act. In addition, in the future we, and others on our behalf, may make statements that constitute forward-looking statements. Such forward-looking statements may include, without limitation, statements relating to the following:

- our plans, objectives or goals;
- our future economic performance or prospects;
- the potential effect on our future performance of certain contingencies; and
- assumptions underlying any such statements.

Words such as “believes,” “anticipates,” “expects,” “intends” and “plans” and similar expressions are intended to identify forward-looking statements but are not the exclusive means of identifying such statements. We do not intend to update these forward-looking statements except as may be required by applicable securities laws. By their very nature, forward-looking statements involve inherent risks and uncertainties, both general and specific, and risks exist that predictions, forecasts, projections and other outcomes described or implied in forward-looking statements will not be achieved. We caution you that a number of important factors could cause results to differ materially from the plans, objectives, expectations, estimates and intentions expressed in such forward-looking statements. These factors include:

- the ability to maintain sufficient liquidity and access capital markets;
- market and interest rate fluctuations;
- the strength of the global economy in general and the strength of the economies of the countries in which we conduct our operations, in particular the risk of a continued US or global economic downturn in 2010 and beyond;
- the direct and indirect impacts of continuing deterioration of subprime and other real estate markets;
- further adverse rating actions by credit rating agencies in respect of structured credit products or other credit-related exposures or of monoline insurers;
- the ability of counterparties to meet their obligations to us;
- the effects of, and changes in, fiscal, monetary, trade and tax policies, and currency fluctuations;
- political and social developments, including war, civil unrest or terrorist activity;
- the possibility of foreign exchange controls, expropriation, nationalization or confiscation of assets in countries in which we conduct our operations;
- operational factors such as systems failure, human error, or the failure to implement procedures properly;
- actions taken by regulators with respect to our business and practices in one or more of the countries in which we conduct our operations;
- the effects of changes in laws, regulations or accounting policies or practices;
- competition in geographic and business areas in which we conduct our operations;
- the ability to retain and recruit qualified personnel;
- the ability to maintain our reputation and promote our brand;
- the ability to increase market share and control expenses;
- technological changes;
- the timely development and acceptance of our new products and services and the perceived overall value of these products and services by users;
- acquisitions, including the ability to integrate acquired businesses successfully, and divestitures, including the ability to sell non-core assets;
- the adverse resolution of litigation and other contingencies;
- the ability to achieve our cost efficiency goals and other cost targets; and
- our success at managing the risks involved in the foregoing.

We caution you that the foregoing list of important factors is not exclusive. When evaluating forward-looking statements, you should carefully consider the foregoing factors and other uncertainties and events, as well as the information set forth in our Annual Report 2010 under IX – Additional information – Risk Factors.

This press release contains non-GAAP financial information. Information needed to reconcile such non-GAAP financial information to the most directly comparable measures under GAAP can be found in the Credit Suisse Financial Release 1Q11.